



開催報告書

6月9日（土）・6月10日（日）の2日間、北海道の十勝スピードウェイにおいて2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.4を開催致しました。D1GP18年の歴史において北海道初上陸となった本大会は、全てが初物尽くしの3日間でした。それでも、無事にイベントを終えることが出来ました事はみなさまの多大なるご協力によるものと感謝致します。今後ともご支援ご協力のほど、宜しくお願い致します。

- イベント名称 2018 HOKKAIDO DRIFT
- 開催日時 2018年6月9日（土）9：30～18：00
2018年6月10日（日）8：30～17：00
- 開催場所 北海道・河西郡更別村
- 競技会名称 2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.4
- 競技会格式 JAF公認準国内格式競技
- 組織委員 組織委員長：齋田功 組織委員：大谷敏之 / 池上崇
- 競技会役員 審査委員長：貞井隆司 審査委員：齋田功
競技長：柴田和英 審判員：神本寿 / 飯田章
コース委員長：濱見健士 時計委員長：美濃屋務
技術委員長：田中美彦 事務局長：飯田麻紀子
- 出演 実況：鈴木学 MC：辻直樹 解説：谷口信輝
イメージガール：D-LOVEits 市川愛/NRK the Hedgehog
- 主催 株式会社サンプロス
- 協力 D1グランプリ“北海道 ドリフト” & 雪上・氷上ドリフト準備委員会
奥本正夫 本間尚洋 羽田弘樹 上野高広
- 公式来場者数 6月9日（土） 2,770名
6月10日（日） 4,328名
2日間合計 7,098名



Rd.4単走

単走予選

北海道でD1GPのシリーズ戦を開催するのは初めて。

十勝スピードウェイもほとんどの選手は初走行となる。今回の審査コーナーはコースを逆走で使用。直線を加速し、右コーナーふたつを抜けてから振り返すというレイアウトだ。

振り出しのキレや1、2コーナー間の角度は重要だが、1コーナーで角度を大きくつけすぎると、ドリフトが2コーナーまで届かない。また、2コーナーまでがんばってドリフトを届かせる必要があるいっぽうで、2コーナー自体はRがキツいため、減速のコントロールもむずかしいというコースだ。

練習走行はドライ路面で行われたが、本番直前に雨が降り出し、競技本番はウエット路面となった。

各グループ1名のみが予選不通過となる条件だったため、予選敗退となったのは4名のみだが、慣れていないコースに、突然の路面コンディションの変化が重なり、全体的に低調な得点となったが、競技中にも路面コンディションが変わり、グループによってウエット係数が異なるので単純比較はできないが、するどい振りを見せた松井が91点台という高得点をマーク。さらに、シーズンオフの活動で氷上運転の経験も豊富な小橋が、滑る路面でもスムーズで減点の少ないドリフトを見せて松井の得点を上まわり、トップ通過となった。



川畑がパワーを生かして“単走”3連勝！

単走決勝

決勝日は朝から晴れ。競技は終始ドライ路面で行われた。しかし、得点はやや低調だった。

むずかしいのは1コーナーから2コーナーまでのつながりだ。ここをスムーズにドリフトでつなげるためにはアウト側にふくらんで丸いラインで走りたいが、そのためにはアウト側のコース幅が足りない。1コーナーに向けては車速をのせて奥めで振り出すいっぽうで、1～2コーナーは角度をやや抑えめにしてドリフトをとどかせつつ、Rのきつい2コーナーでは角度を増して旋回する必要がある。しかもその間の姿勢の安定も得点への影響が大きい。さまざまな要素をバランスさせた走りが要求された。

シード選手が走るまで、最高点は上野の96.23点。

最高速もポンの166.7km/hだった。

しかし、シードの末永（正）が、まず高い車速やするどい振りを見せて97.49点をマーク。トップに立つ。

そして川畑が、182.8km/hの進入速度を見せ、

97.60点を出して末永（正）を上まわった。

つづく横井も180.4km/hを出したが、97.04点どまり。

藤野も97点にはとどかず、川畑が単走3連勝となった。



Rd.4追走

タイヤ消耗戦を制して横井が“追走”2連勝！

今回の審査区間はタイヤの減りが速いコースだった。

ルールにより単走、追走を通じて使えるタイヤは3セットのみ。優勝するにはタイヤマネジメントも重要になる。また、単走でもむずかしかった2コーナーへのアプローチだが、追走の後追いになると、自分のペースで走れないため、さらにむずかしくなる。スピードが足りなかったり、ラインが小さくなると2コーナーに届かない。あるいは無理についていこうとすると、2コーナー手前での減速不足から立ち上がりでオーバーランもしやすかった。

ベスト16では、ランキング首位の藤野が林に敗れる波乱があった。いっぽうベスト8では、横井の対戦相手である林がマシントラブルを起こし、2本目をリタイヤ。これによって横井はタイヤの消耗を少し抑えられる状況になった。

ベスト4に勝ち上がったのは川畑、横井、上野、末永（直）。川畑vs横井は横井が後追いから川畑のインにびっちり入って2ランクのアドバンテージを獲得。2本目は横井にミスも出たが、川畑の逆転には至らず横井が勝った。

上野vs末永（直）は再戦までもつれたが、最後はタイヤの消耗によって上野がアウトに流され、末永（直）が勝利。なお3位決定戦は川畑が勝った。

決勝は横井vs末永（直）。

前戦と同じカードだ。この時点で2台とも中古タイヤしか残っていない。最初の2本は両者とも2コーナーで相手のインに入る走り方で再戦にもつれこむ。そして再戦の1本目、後追いの末永（直）はインに入りきれないものの、横井のはみ出しもあって1ランクのアドバンテージを獲得。しかし入れ替えた2本目、後追いの横井は終始近いドリフトを見せ、末永（直）にも脱輪があって、横井が優勝を決めた。

なお横井はこの結果ランキングトップに立った。



シリーズ総合ポイント

Rank	No.	Driver	Series Points	Total
順位	マシン	ドライバー	Ra1 Ra2 Ra3 Ra4 Ra5 Ra6 Ra7	
1位	70	横井 昌志 MASASHI YOKOI	20 9 30 30	89
2位	35	川畑 真人 MASATO KAWABATA	25 12 22 22	81
3位	9	末永 直登 NAOTO SUENAGA	11 16 25 25	77
4位	66	藤野 秀之 HIDEYUKI FUJINO	17 30 17 11	75
5位	45	畑中 真吾 SHINGO HATANAKA	30 11 16 17	74
6位	39	末永 正雄 MASAO SUENAGA	22 20 12	54
7位	52	北岡 裕輔 YUSUKE KITAOKA	22 25 1 1	49
8位	15	植尾 勝浩 KATSUHIRO UEO	16 10 15 6	47
9位	78	上野 高広 TAKAHIRO UENO	1 14 20	35
10位	81	堀 和也 KAZUYA BAI	20 11 1	32



土曜日は悪天候にもかかわらず、パドック内には沢山のお客様が来場しました。参加ドライバー全員によるサイン会、ピットウォークでは、ドライバーにサインをもらったり写真をとったりする姿が多く見受けられました。日曜日にも、午前の時間帯にファン・サービスの時間を設け、お客様と触れ合うことが出来ました。D1ステージでは、地元のスター選手や次世代ドライバーのトークショーで沢山の人が集まりました。



土曜日のパドック・エリア



土曜日のサイン会



← 日曜日のパドック・エリア →



ピットウォークへの長蛇の列



ピットウォーク時に行われたカスタムカーパレード

会場では「D1」のみならず、土曜日は「NISSAN・NISMOサーキットミーティング」との併催によるR-35GTR30台強の走行や、「D1同乗走行」、「カスタムカー・パレードラン」、「ギャルオン」等各種多彩な催し物が繰り広げられ来場者の皆様には大いに楽しんで頂きました。
10店舗の飲食ブースもお昼時のみならず長蛇の列ができるほど盛況でした。



人気の「豚丼」



カスタムカーパレードラン



NISSAN・NISMOサーキットミーティング



TOYOブースで開催されたドライバートークショー



谷口信輝NISMO 35GTR騎乗（正廻りとD1廻りで各2周走行）その様子は日産プロモEVとして収録。



選ばれた地元Kids達による応援旗の入場

日曜日は心配された天候も何とか持ち（でも寒かった）、土曜日を遥かに超えるお客様で会場は熱気に包まれました。
オープニングセレモニーにおける更別村西山猛村長のご挨拶は“絶妙な切れ味”でこれから始まる大会を大いに盛り上げました。



日曜日オープニングセレモニー



西山村長圧巻のスピーチ



5番ポストから4番ポスト方面の観客



4番ポストから5番ポスト方面の観客



僅か200席の指定席でした。来年は増席必至！？



5番ポストから6番ポスト方面の観客

北海道初上陸、初めてのコースに参加ドライバー達は戸惑いながらも最高のパフォーマンスを披露して観客の皆様を盛り上げました。単走は川畑真人が優勝（3連勝）。追走は第3戦に引き続き横井昌志が2連勝優勝。シリーズランキングでもトップに立ちました。

最後は参加者全員が優勝者の横井ではなく、西山猛村長を胴上げて終了するという前代未聞の有終の美で終えることとなり来年開催が楽しみな幕引きとなりました。



審査席からスタート地点（6番ポスト）方面



横井優勝のガッツポーズ



表彰式。プレゼンターは西山村長



副賞は更別村特産“どんぐりの村ポテトチップス”



“D1ドライバー支持率100%”の村長胴上げ！！



記者会見

2018 D1GP HOKKAIDO DRIFT PROMOTION スケジュール

2月	3月	4月	5月	6月
スケジュール	~28日1週目/2週目/3週目/4週目	1週目/2週目/3週目/4週目	1週目/2週目/3週目/4週目	1日~30日
イベント日程		Rd.1 舞洲 3/31~ 4/1	Rd.3 AP 4/14~15	Rd.4 十勝 6/9~10
チケット券売日				
WEB・SNS				
ポスター&チラシ		配布	ポスター2,130枚 / チラシ37,000枚 (札幌>帯広>旭川>千歳>苫小牧>函館>釧路>小樽>他 by ドリームレンタカー)	
TV&ラジオ	人口538万人 視聴可能世帯数274万世帯			
HBC			5月12日~6月8日	
uhb			5月19日~6月8日	
HTB			5月25日~6月8日	News
JAGA			6月2日~9日	
その他の すずきのvisionCM			5月18日~24日	
十勝毎日新聞		→記事4月13日、21日	記5月10日	6月7日広告/記事6月9日 →記事6月9日、11日夕刊
北海道新聞	北海道654店舗 札幌 帯広 釧路 旭川			4月27日~6月7日 (店頭&SNS各種)
LAWSON				
三栄書房				

プロモV、CM、街頭 & ニュース

プロモーションV



Face book

リーチ61,024人 / 動画再生回数 24,877回

すすきの街頭ビジョン「すすきのワンチャンネル」
15秒CM 48本/日×7日間放送



TV-CM



CM放送局と放送期間

H B C (TBS系列) 5月12日～6月8日

U H B (CX系列) 5月19日～6月8日

H T B (ANB系列) 5月25日～6月8日

TVニュース報道 6月10日(日) スーパーJチャンネル「HTBニュース」午後5時52分頃～約50秒



【HTBニュース】迫力のドリフト走行に歓声 D1 グランプリ初開催



【HTBニュース】迫力のドリフト走行に歓声 D1 グランプリ初開催

記事掲載

十勝毎日新聞4月13日掲載

14

(第1種車検付録)

十勝毎日新聞

十勝スピードウェイで開催されるD1 GPのポスター

道内初 D1 グランプリ

迫力のドリフト上陸

【更別】ドリフト走行の技術と見た目の良さを競う大会「D1 GRAND PRIX (D1 GP)」(サンブロス主催)が6月9、10の両日、道内では初めて十勝スピードウェイ(村和4丁)で開かれる。約40人の選手が出場し、2日間で約5000人の観衆動員を見込んでいる。チケットの販売が14日開始する。

ドリフト走行は、自動車のと、2台が並走して競い合うサイドブレーキやクラッチを「固定」の備目に分かれ、操作し、後輪を意図的に滑らせる技術。同大会では複数のコーナーが設けられコースを走り、進入の「角度」「大きさ」一握りの競い方で勝敗を決める。1人で点数を競う「単走」

と、2台が並走して競い合う「追走」の2種目に分かれ、独自研究の機体シラームで結果を数値化し、審査員の加減点を算出して判定を行う。D1 GPは2001年に日本で発生。現在は県40カ所以上で開催されるがドリフト競技の草分け的な大会として知られる。今年は全国で8戦が予定され、十勝大会は第4戦の位置付け。道内では01

6月に十勝スピードウェイ

年以降選手11人戦出場した野高広瀬手家園市出身)と、今年の開幕戦(大阪)で初優勝を飾った畑中真貴選手(旭市出身)が競戦上野道(市田町)で同大会から「HOKUS R」が投入される。

サンブロスの大最一般運営本部は「念願だった北海道での初開催。千太郎選手3戦後は欧米から輸入入が多数である中、D1 GPはメー

ド・イン・ジャパンの大会。試合の迫力や感動を感じてほしい」と話している。

入場観戦券の事前料金は十勝白1500円(金目2000円)、日曜白1500円(同3000円)、土日同白3000円。中学生以下は入

場無料。コースに近付パシク駐車場は白1000円(同1500円)、土日同白1500円。観戦席内には無料駐車場も備えている。

できる指定席席は1日とに入場料プラス3000円。チケットの購入は、全国のローソンに設置されている「ロケット」から手続を行なう。

イベントに関する問い合わせは事務局(055-555-5557・055-555-5557)。(川原史)

上野道広瀬選手

畑中真貴選手



「高速ドリフトで魅せる」

D1出場選手 会場視察

【更別】ドリフト競技の大会「D1 GRAND PRIX (D1GP)」が6月9、10の両日に道内で初めて十勝スピードウェイ（村松）で開催されるのを前に、出場選手と大会を主催するサンクロス（東京）の関係者が9日、会場の視察に行き会合を行った。

【特別】ドリフト競技の大会「DI GRAND PRIX (DIGP)」が6月9、10の両日に道内で初めて十勝スピードウェイ 村和477で開催されるのを前に、出場選手と大会を主催するサンロス（東京）の関係者が9日、会場の視察と打ち合わせを行った。

やクワリーを操作し、後輪
自動車のサイドブレーキ
を自動的にひらかせて走行す
る。ドリフト競技は日本で誕
生。2001年から始まっ
た同大会は高い人気と知名
度を誇り、世界各地で開催
されるが、モータースポ
ーツとして市民権を得てい
る。

9日に現地入りした約20
人は、スタート位置を数千
メートル離れたコースに決
定するが、当日に向けた
準備をなした。

この日は道内出身の上野
高広(華南出身)、畑中真
吾(旭川出身)、西選手も同
行。上野選手は「とにかく
正確に読むことに加え、ア
スケルの読み切りが重要に
なる」。限られた時間

十勝毎日新聞5月10日掲載

北海道新聞6月8日掲載

2013年度（平成25年度）第30年度（平成26年度）
地域の情報 16



「個性鮮やかで力作50点」
 歴 晋北高島Bの美術展
 本展は、高島市立美術館に所蔵されている、高島市出身の現代美術家・福田重雄（ふくだ しげお）氏の作品50点を一堂に集めた。福田氏は、1935年（昭和10）高島市に生まれ、1959年（昭和34）東京芸術大学美術学部を卒業。卒業後、東京で活動する。1960年代後半から、高島市に帰郷し、高島市立美術館の館長を務める。2000年（平成12）に、高島市立美術館の館長を務める。2000年（平成12）に、高島市立美術館の館長を務める。

十勝 帯広

帯広市立美術館 0916-56-44-33
 帯広市立美術館 24-3151
 帯広市立美術館 24-3152
 帯広市立美術館 24-3153
 帯広市立美術館 24-3154
 帯広市立美術館 24-3155
 帯広市立美術館 24-3156
 帯広市立美術館 24-3157
 帯広市立美術館 24-3158
 帯広市立美術館 24-3159
 帯広市立美術館 24-3160
 帯広市立美術館 24-3161
 帯広市立美術館 24-3162
 帯広市立美術館 24-3163
 帯広市立美術館 24-3164
 帯広市立美術館 24-3165
 帯広市立美術館 24-3166
 帯広市立美術館 24-3167
 帯広市立美術館 24-3168
 帯広市立美術館 24-3169
 帯広市立美術館 24-3170
 帯広市立美術館 24-3171
 帯広市立美術館 24-3172
 帯広市立美術館 24-3173
 帯広市立美術館 24-3174
 帯広市立美術館 24-3175
 帯広市立美術館 24-3176
 帯広市立美術館 24-3177
 帯広市立美術館 24-3178
 帯広市立美術館 24-3179
 帯広市立美術館 24-3180
 帯広市立美術館 24-3181
 帯広市立美術館 24-3182
 帯広市立美術館 24-3183
 帯広市立美術館 24-3184
 帯広市立美術館 24-3185
 帯広市立美術館 24-3186
 帯広市立美術館 24-3187
 帯広市立美術館 24-3188
 帯広市立美術館 24-3189
 帯広市立美術館 24-3190
 帯広市立美術館 24-3191
 帯広市立美術館 24-3192
 帯広市立美術館 24-3193
 帯広市立美術館 24-3194
 帯広市立美術館 24-3195
 帯広市立美術館 24-3196
 帯広市立美術館 24-3197
 帯広市立美術館 24-3198
 帯広市立美術館 24-3199
 帯広市立美術館 24-3200

[illegible]

露出報告

HOKKAIDO DRIFT

in 十勝スピードウェイ

記事掲載

十勝毎日新聞6月11日

十勝毎日新聞6月9日掲載

十勝毎日新聞 2018年(平成30年)6月11日(月曜日) 28



エンジン音と白煙を上げながらドリフト走行をするマシン 動画は電子版で

迫力ドリフトに歓声 更別「D1GP」道内初開催

【更別市】ドリフト競技「D1 GRAND PRIX」の道内初開催が、更別市で10日、十勝スピードウェイで行われた。観客は、ドリフト走行の迫力に歓声をあげ、白煙を上げて走るマシンを大いに楽しんでいた。大会は、更別市と十勝スピードウェイが主催し、全国から多くのドライバーが参加した。観客は、ドリフト走行の迫力に歓声をあげ、白煙を上げて走るマシンを大いに楽しんでいた。大会は、更別市と十勝スピードウェイが主催し、全国から多くのドライバーが参加した。

ドリフト走行は、エンジン音と白煙を上げながら、ドリフト走行をするマシン。観客は、ドリフト走行の迫力に歓声をあげ、白煙を上げて走るマシンを大いに楽しんでいた。大会は、更別市と十勝スピードウェイが主催し、全国から多くのドライバーが参加した。

2018年(平成30年)6月9日(土曜日) 十勝毎日新聞

道内初 ドリフト競技熱く スピードウェイ D1GP開幕



練習走行でドリフトを披露する車両

【更別市】ドリフト競技「D1 GRAND PRIX」の道内初開催が、更別市で10日、十勝スピードウェイで行われた。観客は、ドリフト走行の迫力に歓声をあげ、白煙を上げて走るマシンを大いに楽しんでいた。大会は、更別市と十勝スピードウェイが主催し、全国から多くのドライバーが参加した。

ドリフト走行は、エンジン音と白煙を上げながら、ドリフト走行をするマシン。観客は、ドリフト走行の迫力に歓声をあげ、白煙を上げて走るマシンを大いに楽しんでいた。大会は、更別市と十勝スピードウェイが主催し、全国から多くのドライバーが参加した。

北海道新聞6月12日掲載

9 十勝 2018年(平成30年)6月12日(火曜日) 北海道新聞(夕刊)

スリリングな走りに興奮 更別でドリフト大会



時速100%以上で並走するドライバー。白熱した戦いをファンはかたずをのんで見守った

【更別市】自動車競技のトップクラスであるドリフト競技の全国大会「D1 GRAND PRIX」の道内初開催が、更別市で10日、十勝スピードウェイで行われた。観客は、ドリフト走行の迫力に歓声をあげ、白煙を上げて走るマシンを大いに楽しんでいた。大会は、更別市と十勝スピードウェイが主催し、全国から多くのドライバーが参加した。

ドリフト走行は、エンジン音と白煙を上げながら、ドリフト走行をするマシン。観客は、ドリフト走行の迫力に歓声をあげ、白煙を上げて走るマシンを大いに楽しんでいた。大会は、更別市と十勝スピードウェイが主催し、全国から多くのドライバーが参加した。

車番	ドライバー	結果
1	上野 高広	優勝
2	山本 健	2位
3	佐藤 誠	3位
4	田中 裕	4位
5	鈴木 健	5位
6	高橋 誠	6位
7	佐々木 誠	7位
8	山崎 誠	8位
9	田村 誠	9位
10	佐藤 誠	10位

記事掲載

十勝毎日新聞6月14日

十勝毎日新聞 2018年(平成30年)6月14日(木曜日) 8)

ぐんと遠心力 迫力ドリフト

D1グランプリプロに同乗

ドリフト走行の格好良さを誇るD1グランプリ。道内初開催となったシリーズ第4戦の十勝大会(10日・十勝スピードウェイ)では、訪れた約7000人のファンや家族連れが熱狂した。そもそもドリフトとはどういう競技なのか、車両の同乗体験に参加し、その迫力を体感した。(高津祐也)

ドリフトとはカーブで後輪を滑らせて走行する技術。原理は次の通り。

- ①加速してカーブに近づいたらブレーキを踏み、フットに重心をかける。
- ②ハンドルを切り、クラッチを踏みサイドブレーキを引く。
- ③アクセルをふかして回転数を上げ、クラッチをつなぐと遠心力で加重が軽くなる。
- ④車両がスピンしないよう、アクセルと逆ハンドルを切って調整する。

「他にもいろいろなり方があるけど、プロドライバーの中田智郎選手。一般人は簡単にまねできない。タイヤが激しく摩耗するため、4回ほどの走行が限界だ。ヘルメットをかぶり、助手席に同乗させてもらった。車両は「GARAGE TNR MARK II」。750馬力ある。

シートベルトで身体を固定して発進。1速、2速...と強烈なエンジン音とともに、ぐんぐん加速した。

白煙を上げながら、ドリフトが始まる。ドリフト走行の迫力を体感した。

時速は120〜130km程度。右カーブにさしかかり、中田選手がハンドルを切ると、ドリフトが始まった。

強い遠心力がかかり、身体が外側に持っていられる。初めて車内のボルリングをつかんだ。車内は摩耗したタイヤから上がる煙が充満。すぐに左カーブのドリフトが始まり、息づく間もない。まさに絶叫マシン、わずかな秒砂のことが、降車後も気持ちが高かった。

東京から訪れ、同乗体験に参加した佐藤智子さんは、「外から見るのと全然違う」と満足げ。10年ほど前に観戦した大会をきっかけに、ドリフトの魅力に取りつかれた。今では全国各地の大会に足を運んでいるという。「好きな選手を現地で見て応援したい」と笑顔で話した。

記者の感想は「すごい!」の一言。たまたまの出来事で、あまり覚えていないのも事実だ。視線が追いつかないほどのスピード、耳をつんざくエンジン音、タイヤのゴムが燃える独特の臭い。ドリフト競技の持つこれらの「非日常」が、全国のファンを魅了するのだと実感した。(高津祐也)

記事が同乗した「GARAGE TNR MARK II」

助手席からの目線。ドリフトが始まると、カメラを構える余裕がなかった。

プロドライバーの中田さんの車両に同乗。ドリフト走行の迫力を体感した。

焼けるタイヤ、煙充満

白煙を上げながら、ドリフトが始まる。ドリフト走行の迫力を体感した。

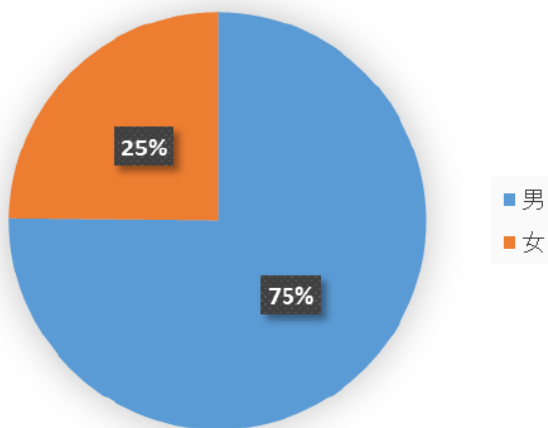
来場者アンケート

HOKKAIDO DRIFT

in 十勝スピードウェイ

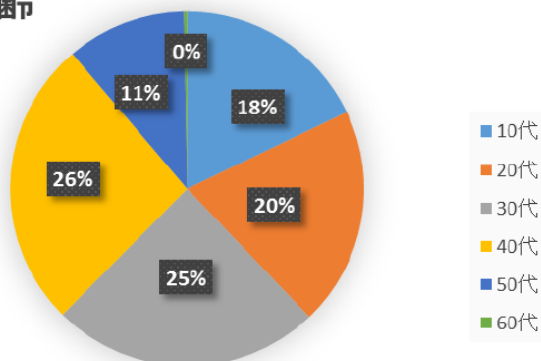
528人の回答

性別



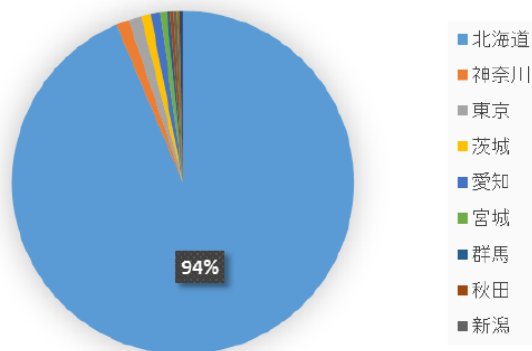
男	248	75%
女	82	25%

年齢



10代	59	18%
20代	66	20%
30代	81	25%
40代	87	26%
50代	36	11%
60代	1	0%

本日はどこから来ましたか？



北海道	309	94%
神奈川	4	1%
東京	4	1%
茨城	3	1%
愛知	3	1%
宮城	2	1%
群馬	1	0%
秋田	1	0%
新潟	1	0%
千葉	1	0%
栃木	1	0%

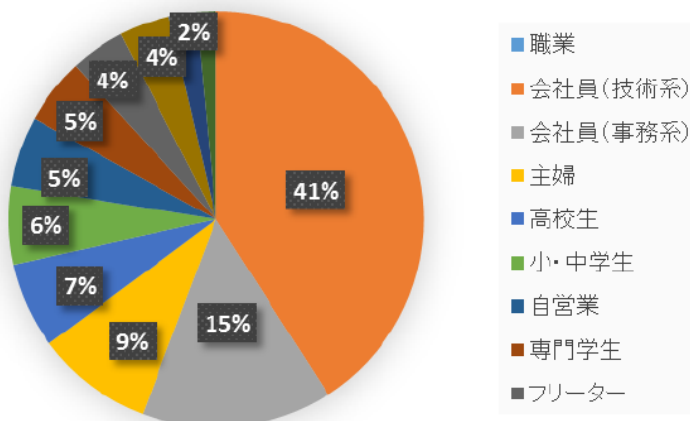
札幌	107
帯広市	61
旭川	30
釧路	25
十勝	16
苫小牧	14
北見	12
音更町	9
千歳	8
空知郡	6
日高	6
遠軽町	5
更別村	5
室蘭市	5
函館	5

来場者アンケート

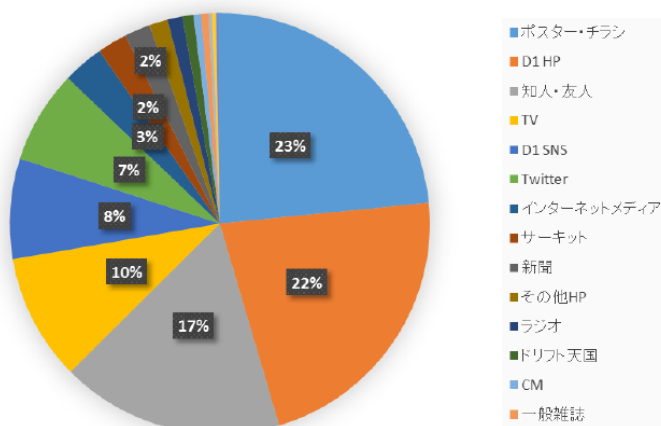
HOKKAIDO DRIFT

in 十勝スピードウェイ

ご職業

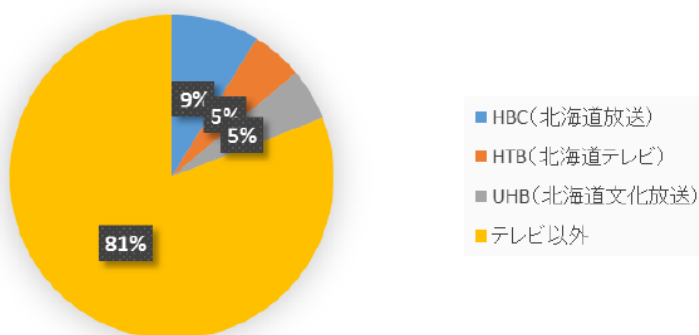


会社員(技術系)	135	41%
会社員(事務系)	49	15%
主婦	30	9%
高校生	22	7%
小・中学生	20	6%
自営業	18	5%
専門学生	17	5%
フリーター	14	4%
公務員	13	4%
大学・短大生	7	2%
会社役員	5	2%

今大会の開催を何で知りましたか？
(複数回答可)

ポスター・チラシ	82	23%
D1 HP	77	22%
知人・友人	60	17%
TV	34	10%
D1 SNS	27	8%
Twitter	25	7%
インターネットメディア	11	3%
サーキット	8	2%
新聞	7	2%
その他HP	5	1%
ラジオ	4	1%
ドリフト天国	3	1%
CM	2	1%
一般雑誌	2	1%
オプション	1	0%
MSF携帯サイト	1	0%
ローソン店頭	1	0%

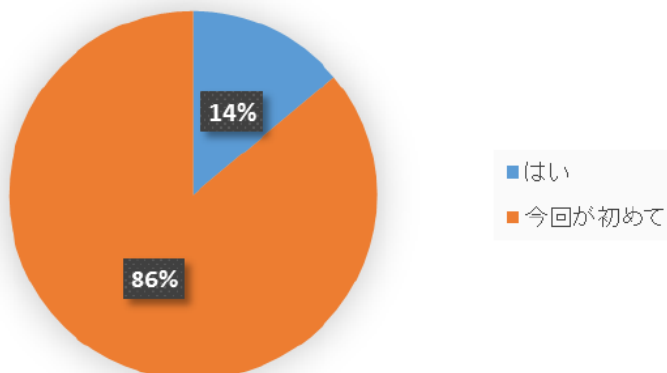
上記質問でテレビと回答していただいた方、どこのテレビ局でしたか？



104人の回答

HBC(北海道放送)	29	9%
HTB(北海道テレビ)	17	5%
UHB(北海道文化放送)	17	5%
テレビ以外	267	81%

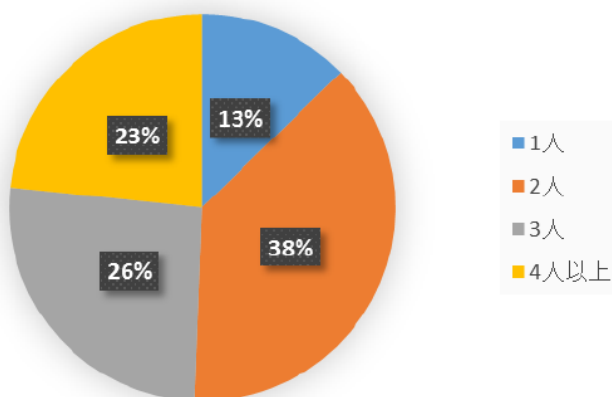
過去のD1GPを 観戦したことがありますか？



D1初体験86%

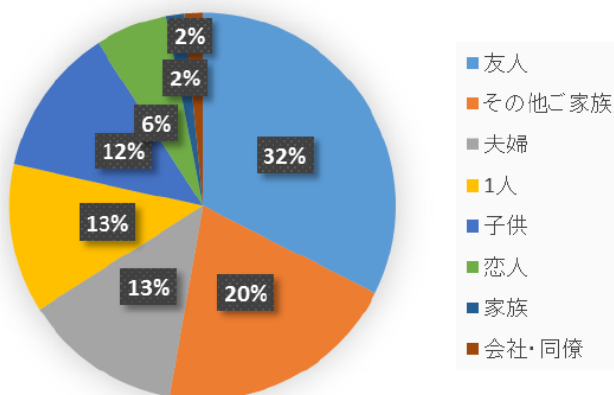
はい	46	14%
今回が初めて	284	86%

何人で来場しましたか？



1人	42	13%
2人	125	38%
3人	86	26%
4人以上	77	23%

どなたと来場しましたか？



47%が家族連れ

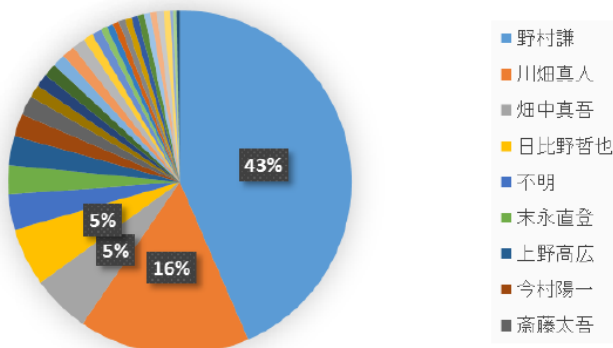
友人	107	32%
その他ご家族	67	20%
夫婦	44	13%
1人	41	12%
子供	41	12%
恋人	20	6%
家族	5	2%
会社・同僚	5	2%

来場者アンケート

HOKKAIDO DRIFT

in 十勝スピードウェイ

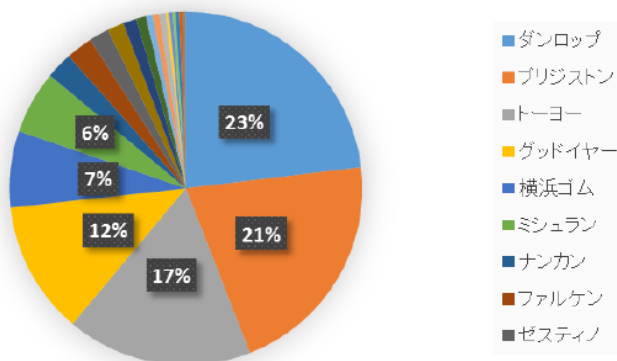
好きなドライバーは誰ですか？



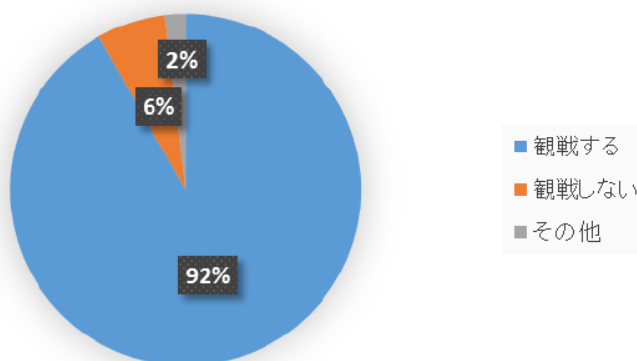
511人の回答

野村謙	143	43%	藤野秀之	3	1%
川畑真人	53	16%	横井昌志	3	1%
畑中真吾	18	5%	林和樹	2	1%
日比野哲也	18	5%	北岡裕輔	2	1%
不明	11	3%	内海彰乃	2	1%
末永直登	9	3%	村上満	2	1%
上野高広	9	3%	深田真弘	2	1%
今村陽一	7	2%	植尾勝浩	2	1%
斎藤太吾	6	2%	松川和也	2	1%
末永正雄	4	1%	小橋正典	2	1%
田中省己	4	1%	時田雅義	2	1%
村山悌啓	4	1%	唄和也	2	1%
松井有紀夫	4	1%	PON	2	1%
今村隆弘	4	1%	高橋和己	1	0%
チャールズ	4	1%	平島明	1	0%
			高橋邦明	1	0%

好きなタイヤメーカーは何ですか？



ダンロップ	76	23%	ケンダ	4	1%
プリジストン	69	21%	ピレリ	3	1%
トーヨー	56	17%	アキレス	2	1%
グッドイヤー	40	12%	ウエストレイク	2	1%
横浜ゴム	23	7%	トライエース	2	1%
ミシュラン	19	6%	ATR	1	0%
ナンカン	8	2%	グッドライド	1	0%
ファルケン	8	2%	ハンコック	1	0%
ゼスティノ	6	2%	マキシス	1	0%
フェデラル	5	2%	ワンリ	1	0%
			わからない	1	0%

来年北海道で開催される場合
来場しますか？

75%が来年の開催に期待

観戦する	246	75%
観戦しない	17	5%
その他	5	2%

今年度より実施しておりますYou Tubeは気軽に見ることができることから、幅広い方に利用しやすくなりました。You Tubeライブでは企業CMを入れたり、商品を紹介することも可能と活用の幅も広がっています。

	予選日	決勝日
総再生時間	382,391分	1,539,252分
平均視聴時間	14分	25分
視聴回数	39,323	81,966
高評価数	330	658
利用性別	男性97% 女性3%	男性96% 女性4%
総視聴国	74カ国	77ヶ国
最大同時接続者	2,922名	3,936名
チャットメッセージ	2,063件	81,966件

年齢別	予選日	決勝日
13～17	7%	7%
18～24	18%	16%
25～34	30%	29%
35～44	28%	28%
45～54	16%	18%
55～64	1%	1%

利用端末	予選日	決勝日
携帯電話	51%	45%
パソコン	23%	27%
タブレット	13%	15%
テレビ	7%	8%
ゲーム機	5%	5%
その他	1%	0%



海外向けの実況はアレクシーが担当



2020年オリンピックイヤーに20周年を迎える「D1 GRAND PRIX」

三栄書房グループ
株式会社サンプロス D1 事業部
東京都新宿区新宿6-27-30 新宿EAST SIDE SQUARE 7階

SUNPROS Co.,Ltd.
Shinjuku-Eastside-Square 7F, 6-27-30,Shinjyuku-Ku,Tokyo 160-0022 Japan
P. (+81) 03-5287-2939 www.D1GP.co.jp